



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

クロザピンを内服している入院または通院中の治療抵抗性統合失調症患者

【研究課題名】

高速液体クロマトグラフィーによる血漿中クロザピンおよびその活性代謝産物の濃度測定に関する多施設前向き観察研究

【研究責任者】

柏木宏子（国立精神・神経医療研究センター 第二精神診療部）

【本研究の目的及び意義】

本研究は岡山県精神科医療センターとの共同研究です。治療抵抗性統合失調症に有効性が認められている治療薬、クロザピンについて、その血中濃度の測定が診療に有用であるかどうかを明らかにすることが目的です。クロザピンを使用されている方から、本研究について説明したうえで、血液を分けていただき、岡山県精神科医療センターにて測定を行います。この研究により、安全で精密な治療が行なえるようになる可能性があります。

【本研究に提供する試料・情報】

血液

【研究期間】

2017年7月14日 ～ 2023年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

岡山県精神科医療センター

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520 e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)